

VII. 平成5年のこよみ

- 1月4日 原爆後障害医療研究施設・原爆資料センター合同，年始の会
7日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 2月4日 原爆資料センター・スタッフミーティング
25日 チェルノブイリ原発事故医療専門家10名 研修、見学のため来館
1. セミチェヴァ タチアナ ヴァレンチェノバ氏
(モスクワ内分泌学学術センター)
 2. パルシン ウラジミル セルゲーヴィッチ氏
(ロシア医学アカデミー医療放射線学学術センター)
 3. ジグムンド E ゲドレビッチ氏
(ミンスク医学研究所腫瘍学部門)
 4. ユーリ イバアシケビッチ氏
(ミンスク腫瘍学局医師)
 5. ロシュコフ オレグ ヴィクトロビッチ氏
(オブニンスク医療放射線学学術センター)
 6. マスロバ エレーナ ラウリエビナ氏
(モスクワ血液学学術センター)
 7. ウラディミル シェルチェンコ氏
(ウクライナ情報処理登録センター)
 8. アンドレイ ボムコ氏
(ウクライナ情報処理登録センター)
 9. ヴァレンティン A.ステコ氏
(ベラルーシ保健省チェルノブイリ事故医療影響部)
 10. アレクセイ E.オケアノフ氏
(ビエロロシアン医療技術情報センター)
- 3月4日 原爆資料センター・スタッフミーティング
29日 事務補佐員 荒武陽子退職
31日 奥村 寛教授 センター長，調査部主任を辞任
- 4月1日 朝長万左男教授 センター長に就任
新川詔夫教授 調査部主任に就任
事務補佐員 富田恭子採用
- 5日 原爆資料センター・スタッフミーティング
28日 小林英敏 (名古屋大学)，DR. Birendra Kas 見学のため来館
- 5月6日 原爆資料センター・スタッフミーティング

- 6月3日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 8日 Dr. Bremer (ドイツ・ゲッチンゲン大学) 見学のため来館
- 16日 調査部 セミナー
「パプアニューギニアに居住する小集団の病気と適応」
中澤 港 (東京大学医学部人類生態学教室)
- 7月1日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 8月3日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 13日 チェルノブイリ関係医師4名見学のため来館
アレキセイ・サイコ (ウクライナ共和国)
ガリーナ・バラシューク (ベラルーシ共和国) ほか2名
- 13日 病理部 セミナー
老化促進モデルマウスと神経研究
特別講演 「促進老化現象のモデル動物としてのSAM」
細川 昌則 (京都大学胸部疾患研究所)
- 9月2日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 22日 宋 昌氏燮, 金 麗生氏 (大韓赤十字社ソウル病院) 見学のため来館
- 10月5日 アレキサンダー・ツコフ氏, アレキサンダー・バラノフ (ロシア連邦生物物理学研究所) 研修, 見学の為来館
- 10月7日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 11月8日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 26日 調査部 セミナー
「DS86に基づく〔原爆被爆者線量 (ABS93D)〕と動的被爆者集団への応用」
松浦 正明 (広島大学原爆放射能医学研究所)
- 12月2日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 13日 Artemova Alla Michailovna (ロシア医学アカデミー内分泌センター)
Agloblina Qallma Jaroslavna (ブリアンスク州立病院)
Kapliyeva Marina Petrona (ミンクス放射線医学研究所)
Gorshanov Michail Ignatievich (ミンクス放射線医学研究所)
Olenik Valeri A (ウクライナ内分泌研究所)
Ignatovskaya Irina A (ウクライナ放射線医学研究所)
見学のため来館
- 16日 忘年会